

小中学生アンケート

次世代を担う若い世代からの意見も総合計画の策定に活用するため、市内の小学5年生・中学2年生にアンケートを実施し、約1500人から回答をいただきました。様々な意見を聞くため、自由記述とし、回答の中で出された単語の回数を集計しました。

配布数…1984

回収数…1517

回収率…76・5%

※新型コロナウイルス感染拡大予防による市内小中学校の休校措置により、一部実施できなかった学校があります。

10年後どんなまちになってほしいか

「自然豊かなまち」「自然を大切にするまち」という意見が多く、環境に対する取り組みを望む意見が出ました。次いで「イベントが多いまち」「お祭りが多いまち」など、「イベント」「お祭り」という単語が多く、まちのにぎわいを求める意見が目立ちました。その他には「犯罪がないまち」「皆に優しいまち」など安全安心に関する意見が多く出されました。

市長になったらやってみたいこと

「イベントの開催」「月1回何かイベントをやる」などイベントや祭りの開催についての意見が多く出ました。その他、「自然を豊かにする」「自然を守る活動をする」など「自然」という単語が多く、環境に対する取り組みを行いたいとの意見が出ました。

市民意識調査の結果でも、直方市に定住する理由として「自然環境に恵まれている」

という意見が最も多く、直方市の自然環境に対する評価は世代を問わず高いようです。

また「防犯のためのポスターを作る」「みんなが優しくなるようなポスターを作る」など小中学生らしい意見が多く出しました。さらに「学力を高める」など学校教育の充実を求める意見が多く見られました。

◎質問

「市長になったらやってみたいことは？」

1	イベント	426
2	自然	202
3	ポスター	189

単位 (回) ※上位3単語

◎質問

「10年後どんなまちになってほしいか？」

1	自然	410
2	イベント	321
3	お祭り	214

単位 (回) ※上位3単語



市民ワークショップ

まちの将来について市民の皆さんのご意見をいただき、共に考え総合計画の策定を進めていくために、2月2日に市民を対象としたワークショップ「SDGsカードゲームでまちづくり」を開催しました。応募いただいた市民と市内の高校生の計35人が一緒に、地域のまちづくりにSDGsがなぜ必要なのかをカードゲームを通して考えていただきました。

参加者からは「楽しかった」「SDGsの説明が分かりやすく理解をすることが出来た。」などの意見をいただきました。



ご意見をお願いします

3月15日に市民意識調査や基礎調査をテーマに市民ワークショップを開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。現在も緊急事態宣言が発令中であり、今後も市民ワークショップ開催の見通しが立たない状況です。しかしながら、総合計画には多くの市民の皆さんのご意見を参考にし、策定したいと考えています。

つきましては、市のホームページに市民意識調査や基礎調査の結果を掲載していますので、ご意見をEメール、郵便、FAXにてお寄せください。たくさんのご意見をお待ちしています。

掲載場所：市トップページ

市政情報▽市政・組織・計画▽総合計画・総合戦略

Eメールアドレス…

n-seisaku@city.nogata.

fukuoka.jp

FAX…24-3812

郵送…直方市企画経営課企画経営係宛て

受け付け期限…5月31日(日)

アンケートにご協力を

九州大学と連携し、「新国富指標」を活用したまちづくりを進めていくため、アンケートを実施します。新国富指標は、地域の多面的な豊かさを数値化するための指標であり、これらを金銭的価値に換算することにより、市民の方々のニーズを把握し、市の政策への反映を目指します。アンケートは、昨年12月に締結した連携協定に基づき、直方市と九州大学都市研究センターが共同で実施します。ご協力のほど、よろしくお願い致します。



◆問い合わせ…

企画経営課企画経営係

(TEL 25-2230)

実施期間：5月中旬頃から
実施方法：郵送調査（無作為抽出により、18歳以上の市民2500人に送付）